



ものづくり大学・未来への挑戦 ②

インターンシップ先進大学、企業からも好評

ものづくり大学が開学以来注力しているのがインターンシップ(就業体験)。全学生が参加することと40日(最長80日)という長期のインターンシップが特徴だ。文部科学省の「インターンシップ好事例集」にも取り上げられたインターンシップ先進大学。参加した学生の満足度も高く、受け入れ企業からも好評だ。学生アンケートなども実施し、次年度に向けて常に改善も進めている。



卒業後の自身を描いた

技能工芸学部
建設学科2年 **岡野 秀美 さん**
(静岡 聖隷クリストファー高等学校出身)

建設学科2年生の岡野秀美さんは、「実際に現場に行き、仕事に携われた時間は何ものにも代えがたい貴重な時間だった。現場では多くのことを学んだ」と振り返る。そして、いま「社寺建築にかかわりたい」と卒業後の自分自身の姿をはっきりと描いている。

岡野さんは2021年6月14日から8月21日まで、出身地でもある静岡県の株式会社天峰建設で就業体験した。天峰建設は一般住宅の設計・施工などを手掛けているが、神社仏閣の設計・施工で多くの実績がある企業。岡野さんは模型を使っての座学と、建築現場で実務の流れなどを体験したほか、神社の上棟式にも参加した。

秋葉神社では「多くの職人がかかわり、多くの時間が費やされている」と実感した。その一方で、「まだまだ自分の実力が足りていない。もっともっと知識、技術を学び深めたい」との思いを強くした。

岡野さんは「私にとって、40日間はとても充実していた毎日だった」という。



現場で研修する岡野秀美さん=2021年7月、静岡県浜松市の秋葉神社

〈インターンシップ学生アンケート〉

ものづくり大学が2021年10月に実施した2021年度インターンシップ学生アンケートによると、「インターンシップに興味をもって取り組んだか」の質問に対して、「十分に興味をもって取り組んだ」が76.5%、「まあまあ興味をもって取り組めた」が21.8%などとなっている。回答した学生の約98%が興味をもって取り組んでおり、学生は意欲的にインターンシップに参加していることがうかがえる。アンケートは総合機械学科208人、建設学科307人の合計515人を対象に行い、413人から回答(回答率約80%)があった。

ものづくり大学のインターンシップとは?

ものづくり大学は「理論」と「実践」が車の両輪のように一体化した教育を1年次から4年次の卒業に至るまで一連のカリキュラムを組んで実施している。インターンシップはこのカリキュラムの一つで「実践力を高め、専門性を深める」ことなどを目的に全員参加の必修となっている。インターンシップは総合機械学科(2022年4月から情報メカトロニクス学科)、建設学科ともに2年次と4年次に履修する。2002年度に開始して以来、2021年度までに6,329名の学生が履修している。受け入れた企業は延べ4,396社。さらに受け入れを可能としている企業は延べ6,785社となっている。インターンシップは「仕事をする意味を認識し、自分の適性を見極め、進路検討にも役立てる」ことも目的としており、開学以来、平均96%という高い就職率にもつながっている。

受け入れ企業・旭工榮株式会社(行田市)

目的を持つ学生を応援

ものづくり大学の学生をインターンシップ生として受け入れている建設コンサルティング、測量調査を中心に事業展開している旭工榮株式会社(行田市)。

同社の古澤憲雄社長は、「とても意欲の高い学生だった。さまざまなことを吸収しようと、一生懸命に取り組んでいた」などと話す。2021年度はものづくり大学から学生4人を受け入れた。測量などに関する基礎知識を習得するプログラムのほか、現地で業務を体験。

古澤社長は、「(ものづくり大学の学生は)目的を持って参加していると感じた。これは素晴らしいこと」と評価している。同社は「業界を知ってもらい、そして会社を知ってもらいたい。将来を担う若い人材を育てたい」(古澤社長)などとインターンシップには積極的。毎年、ものづくり大学など複数の大学などから受け入れている。



古澤 憲雄 社長

98%が意欲的に取り組む!

「インターンシップを受けて良かったか」の質問には、「非常に良かった」が77.2%、「まあまあ良かった」が18.7%となっている。

「インターンシップを経験して何が得られたか」に対しては、「就職活動に役立てたい」が最も多かった。

一方で、学生を受け入れた企業からは、「研修への意欲が高いせいか、教育指導中にも質問を投げかけてくる姿勢がとても印象に残った」などの感想が寄せられている。

開学20周年記念事業募金を受付中!!

ものづくり大学では、将来にわたり「社会に貢献する教育研究」や「時代の要請に応える人材の育成」拠点であり続けたいと願い、さらなる教育の質を高め、教育研究の活性化を図っていくため、「ものづくり大学開学20周年記念事業募金」をスタートさせた。概要は下記にて。



寄付の目的

- 教育研究設備の高度化
- 既存施設・設備の更新
- 人材育成への投資

募金制度の概要

1. 募金名称 開学20周年記念事業募金
2. 募金目的 情報化施工に関する各種実習や情報を活用したメカトロニクス化に対応できる教育を行い、ICT基礎知識を身につけた人材育成を目指して新たなシステムを導入する。
3. 募金目標額 1億円
4. 募金期間 2021年6月1日~2023年12月31日
5. 寄付金額 法人・団体:一口10万円以上、個人:一口1万円以上

寄付の申し込み・払込みの流れやその他詳細については、同大学の開学20周年記念事業募金サイトを参照のこと。
<https://www.iot.ac.jp/20th/donation.html>



進化する技・深化する知

ものづくり大学

INSTITUTE OF TECHNOLOGISTS

2021年11月1日開学20周年記念式典を挙行いたしました。皆様の温かいご支援に感謝申し上げます。

〒361-0038 埼玉県行田市前谷333番地 [TEL] 048-564-3800 [FAX] 048-564-3507

ものづくり大学 検索

